



## 産業道路について（平成 19 年 12 月定例会）

今後、周南コンビナートを支え続けていくためには、港湾整備と共に産業道路の整備が喫緊の課題です。特に、産業道路の東進については、多くの課題もありますが、早急に解決すべきことです。今後の見通しについて、ご説明ください。

また、現在、産業道路は一日当たり 1 万 6 千台の交通量があり、朝夕は非常に混雑しています。さらに、この度、キリンビール跡地にショッピングセンターの進出が決定し、既に工事に着工しておられます。

ただでさえ、渋滞している産業道路は、このままでは物流の機能に支障を来す可能性があります。

産業道路の整備についてどのように考えておられるか、併せてご説明ください。

### 【柳橋土木建築部長答弁】

産業道路の東進については、現在、現地に立ち入り、操業への影響が懸念される施設の確認と、敷地内での再配置を計画するため、測量調査を実施しているところです。今後も、関係企業等と調整を行い、検討してまいります。

ショッピングセンター進出に伴う対応については、当面の対策として、現道交通への影響を最小限に抑えるため、ショッピングセンター事業者に対し左折レーンの設置を指導したところです。

また、産業道路の整備については、長期的には、交通状況や、東進の事業の進捗状況を踏まえ、道路の整備の必要性についても検討してまいります。